

県立美術館で公開中 ミレーの油彩画「古い塀」

県立美術館では、ジャン・フランソワ・ミレーの油彩画「古い塀」を購入し、一般公開しています。バルビゾン村とフォンテーヌブローの森を区切る古びた塀と鹿が描かれたこの作品は、ミレーが風景を描き始めた1862年頃に制作されたもので、日本初公開となります。



日本初公開となるミレーの油彩画「古い塀」

69点のミレー作品を収蔵する県立美術館は、農民画をはじめ、肖像画、神話画、風景画などミレーの多様な芸術世界を堪能することができます。国内唯一の美術館です。

次世代エネルギーの 情報発信拠点 「ゆめソーラー館やまなし」

県と東京電力が共同で整備した米倉山太陽光発電所の敷地に「ゆめソーラー館やまなし」がオープンしました。ここでは、再生可能エネルギーや地球温暖化対策、最新の発電技術などについて、展示や映像で楽しく学ぶことができます。また、館内で使用するエネルギーを自給自足するなどし、CO₂ゼロ運営を目指しています。



太陽光発電の仕組みや地球温暖化について学べる「太陽エネルギーゾーン」

この施設は、「クリーンエネルギー」先進県を目指す本県の環境学習と、次世代エネルギーに関する情報発信の拠点として活用していきます。

山梨ならではの新たな 農産加工品の開発を目指して

県では、県産農産物を材料とする新たな農産加工品の開発を進めるため、「美味しい甲斐開発プロジェクト」を実施しています。2月9日には、甲府市内のホテルで展示・試食会を行い、山梨県農政アドバイザーである小泉武夫東京農業大学名誉教授から、本年度新たに開発した加工品の販売等に向けた助言を頂きました。



開発した9つの試作品に助言をする小泉武夫先生

県では、引き続き、農業、商工観光などの関係団体と連携し、山梨ならではの加工品の開発と販売促進に取り組んでいきます。

「災害時における 帰宅困難者支援に 関する協定」を締結

県と(社)日本フランチャイズチェーン協会に加盟するコンビニエンスストア、外食チェーン店自動車用品店の8社は、2月15日「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結しました。

今回の協定に賛同した店舗は「災害時帰宅支援ステーション」として、入口にステッカーを掲出し、水道水やトイレ等の提供、ラジオ等で知った通行可能な道路に関する情報の提供を行うなど帰宅困難者への支援をしていきます。



県と協定を締結した(社)日本フランチャイズチェーン協会の加盟8社

2月23日「富士山の日」に山梨・静岡両県で 「富士山世界文化遺産両県県民会議」発足

県民の皆さんが、富士山への理解と関心を深めるとともに、その恵みに感謝し、豊かな自然や美しい景観、歴史・文化を後世に引き継いでいくことを決意する日として、昨年12月に、2月23日を「富士山の日」と定めました。

県では、初の「富士山の日」となる2月23日、富士吉田市内で「富士山の日」制定記念式典を開き、富士山世界文化遺産両県県民会議を立ち上げました。また、山梨・静岡両県と関係市町村などでは富士山の魅力を体感できる多彩なイベントを開催しました。



「富士山の日」式典において、「両県県民会議」が発足(富士吉田市にて)

今後、両県では、官民連携による国民運動を展開し世界文化遺産登録に向けて機運を盛り上げていきます。

日本政府は、1月27日に、富士山の文化的価値を証明した推薦書をユネスコに提出しました。今後は、今年の夏から秋ごろ、ユネスコの諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)による現地調査が行われ平成25年夏ごろの世界遺産委員会において、「富士山」の世界文化遺産登録の可否が決定されます。

県政情報を コンパクトに紹介!!

県政だより「ふれあい」月刊号は、毎月1日(原則)に新聞掲載しています。次回は5月1日

掲載新聞は
こちら

- 山梨日日新聞
- 読売新聞 ● 朝日新聞
- 毎日新聞 ● 産経新聞

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

